

CBRC2006

CBRC の研究成果を定期的に発信していく場として昨年から始まった CBRC シンポジウムを、本年は 9 月 28 日、29 日に開催いたしました。第 2 回となる今回は CBRC の最新の研究紹介のほか、東大、早大との各連携による研究報告も行いました。多数の方のご来場をいただき、各セッションでは活発な議論が交わされました。

バイオインフォマティクスの最前線

CBRC 研究紹介



富永氏 木立氏 亀田氏 藤渕氏

セッション 1

「細胞アレイ装置による遺伝子発現時系列の観測とその解析法」

富永 大介 (CBRC 生体ネットワークチーム)

「塩基配列比較による機能性 RNA 発見法の開発」

木立 尚孝 (CBRC 数理モデルチーム)

「Generalized Born エネルギーを用いたアミロイド形成のシミュレーション」

亀田 倫史 (CBRC 分子設計チーム)

「ヒト細胞の構造と機能予測」

藤渕 航 (CBRC 配列解析チーム)

ゲノム解析の潮流

CBRC- 東大連携



服部先生 金氏 加藤氏 会場の様子

セッション 2

「Analysis of the human intestinal metagenome」

招待講演

服部 正平 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科)

「fRNAdb: a platform for mining/annotating functional RNA candidates from non-coding RNA sequences」

金 大真 (数理モデルチーム)

「Drug resistance prediction from microarray data via network-based noise reduction」

加藤 毅 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科)

タンパク質立体構造から機能へ

CBRC- 早大連携



輪湖先生 関嶋氏 清水氏 山田氏

セッション 3

「タンパク質立体構造のゆらぎ-基準振動解析によるアプローチ」

輪湖 博 (早稲田大学 社会科学総合学院)

招待講演

「大規模分子動力学シミュレーションによる生体分子の自由エネルギー地形解析」

関嶋 政和 (タンパク質機能チーム)

「タンパク質のディスオーダー予測」

清水 佳奈 (タンパク質機能チーム)

「PRIME: 区分的線形ギャップコストを用いたマルチプルアライメントプログラム」

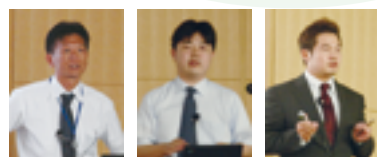
山田 真介 (早稲田大学理工学術院)

生命情報科学技術者養成コース シンポジウム

文部科学省科学技術振興調整費の支援を受け、平成 17 年度より実施している「生命情報科学技術者養成コース」の活動状況を報告するシンポジウムを、9 月 29 日に産総研 臨海副都心センター 別館で開催いたしました。



来賓挨拶：文科省 調整企画室 堀内室長 (左)
開会の辞：臨海副都心センター 守谷所長 (右)



各講師による報告の様子
左から岡田専任講師、横田専任講師、広川担当講師

BI 速習コース I・II 報告 (岡田、横田)、創薬インフォマティクス技術者養成コース報告 (広川) は、それぞれコース内容の詳細な紹介や、社会人受講生 4 名の方々による受講体験のご報告などが行われ、また本コースを改善するための今後の計画等も述べられました。

パネルディスカッション

「これからのバイオインフォマティクス技術者への期待」

パネリスト 石川 智久 (東京工業大学生命工学部生命工学科)
神沼 二真 (東京医科歯科大学・株式会社バイオダイナミックス)
多田 幸雄 (大鵬薬品工業株式会社)
藤 博幸 (九州大学生体防御医学研究所)
広川 貴次 (分子設計チーム 研究チーム長)

司会 秋山 泰 (研究センター長)

